

5月31日(月)

やることリストとの戦い

聖書朗読 コロサイ3:17~4:1

あなたがたのすることは、ことばによると行ないによるとを問わず、すべて主イエスの名によってなし、主によって父なる神に感謝しなさい。 コロサイ3:17

多くの人と同じように私は「やることリスト」を作っています。そして、多くの人と同じように私もイエス様のために重要なことをしたいと思っています。リストに書きだしたことのほとんどは大して重要ではなくつまらない事でも日々の生活でしなければならいことなのですが、それは、靈的に重要なものではないのが問題です。どうしてもしなければならいことをし終わった頃には、より重要なことをする時間もエネルギーもなくなっています。どうすればいいのでしょうか。

「成功者とそうでない人の行動の違い1000例」という本の中で著者は、自分のやることを好きにやりなさいと言っています。しかし、それはとても簡単すぎることのように思えます。パウロの言葉を思い浮かべます。彼はシンプルにこう言いました。「全てを主イエスの名において行いなさい」パウロは本当に「全てを」と思っていたのでしょうか。どうもその通りようです。もう一度読んでみましょう。それは最も大変な仕事を押し付けられていた奴隷たちに向けられた言葉であるところにも気を止めましょう。

そういう訳で、私は「やることリスト」を「イエス様のためにできることリスト」と呼ぶことに変えたのでした。

讃美歌 神の国と神の義を

祈り 天の神様、あなたは私がキリストに仕えることで有意義な人生を送りたいと望んでいながらも、あまり重要でないことに多くの時間を費やしてしまっていることをご存知です。

イエス様のためでなければどんなことも重要でないのだと悟ることができますように。アーメン。

ペリー・S・メイソン
テキサス州 ラボック

今日のカ

2021年5月31日~6月6日

翻訳 ハンコック・真由美

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

6月1日 (火)

一瞬を捉える

聖書朗読 コロサイ4：2～6

むしろ、こころの中でキリストを主とあがめなさい。そして、あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでも、いつでも弁明できる用意をしていなさい。
I ペテロ3：15

腕のいいカメラマンは、見逃せない一瞬の重みを知っています。アスリートのどうしても勝ちたいという意欲満々の顔、好奇心で満ちた子どもの目は一瞬で消えてしまいます。光の具合を調整したり、場所を移動する時間ありません。その瞬間が来た時にそれを捉えるために待ち構えて準備していなければなりません。

弟子パウロは、その重要性を理解していました。今日の聖書朗読箇所の中でパウロは、外部の人に対して賢く振る舞いあらゆる機会を用いるように勧めています。霊的な質問にすべて答えることができるようになるまでや、自分の人生がもっと軌道に乗るまで待ってられないのです。チャンスが巡って来たときを捉えれば、私たちの周りの人たちに永遠の影響を与えることができます。

あなたはどうか。どんな時でもその瞬間を捉える準備はできていますか？その魂に触れるチャンスは二度と巡ってこないかもしれないということを忘れないでください。そういうわけですから、いつも備えていてください。

讃美歌 453

祈り 主よ、どうか私の目を開けてください。あなたの愛と恵みを分かち合う機会を見逃すことはありませんように。その瞬間を捉える勇氣と意欲をください。
イエス様のお名前によって。アーメン。

ジャン・ノックス
テキサス州 グランベリー

6月2日 (水)

この世のさすらい人

聖書朗読 ヘブル11：13～16

これらの人たちは皆、信仰の人として死にました。。。地上では旅人であり、寄留者であることを告白しています。
ヘブル11：13

路上で生活し、自分の持ち物を持ち歩くような生活をしている人の映画を見たことがあります。そういう生活を望む人はあまりいないでしょう。彼は我が家と呼べる場所のない巡礼者のような生活をしていました。

霊的な見方をすると、クリスチャンとしての私たちの生き方もそのようなものです。私たちにとって地上での生活は旅です。私たちはやがて行き着く約束された永遠の住まいを目指して生きています。しかしながら、私たちは何度も今の時点での心地の良い場所を見つけ、進むことを止めて自分たちの周りの世界に留まる誘惑を受けてます。そうすると、現在生きている場所を住みやすいものにしようと集中し過ぎてしまい、永遠への思いを失ってしまいます。

今日の聖書朗読箇所から信仰の英雄たちは、この地上を遊牧民のようにさまよう旅人で、常に先を見て、より良い天の国を求めていたのだと読み取ることができます。彼らの信仰ゆえに、永遠にフォーカスを当てていたゆえに、神様は住まいを準備して置いてくださったのです。同じように、信仰を持って進んでいる私たちがまた永遠に神様と住まうことのできる永遠のエルサレムでの終の住まいを受け取ることができるのです。

讃美歌 II 161

祈り 親愛なる神様。神様から目を背けないように助けてください。私のために用意してくださっている永遠の住まいを目指して進んでいくことができますように。

イエス様のお名前を通してお祈りいたします。アーメン。

ジャン・ノックス
テキサス州グランベリー

6月3日(木)

東の空を見えていますか

聖書朗読 ヘブル11:23~35

人の子の来るのは、いなづまが東から出て、西にひらめくように、ちょうどそのように来るのです。
マタイ24:27

イエス様が再びいらっしゃるのを見るために東の空を見るという意味のゴスペルソングを聞きました。そして、その曲の作者の先祖たちはイエス様が再臨した時会えるように東向きに埋められているという記事を読みました。イエス様が再臨される時を見逃したくないと誰もが考えます！埋められる方角よりも大切なのはどの方向を向いて生きているかです。天国のことを語り、天国に自分の方向を向けて生きようではありませんか。

ヘブル人への手紙の11章には信仰者たちのリストが書き並べられています。アベルが捧げた。ノアが建造した。アブラハムが出発した。モーセが拒んだ。などなどです。私たちが励ますかつてのチャンピオンたちの勝利の歌です。

讃美歌 509

祈り 神様、どうぞ天国で一番魅力的なものが「豪邸」でなく、イエス様が用意してくださった場所に聖なる父であるあなたと一緒に住むことであると理解させてください。

イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

リネット・カーナハン・グレイ
テネシー州 ロックフォード

6月4日(金)

あなたの背中を押してくれた人を忘れないで

聖書朗読 ヘブル13:1~8

神のみことばをあなたがたに話した指導者たちのことを、思い出しなさい。
ヘブル13:7

「ダビデは、彼の生きた時代に神のみこころに仕えた後、死んで先祖たちの仲間に加えられ」(使徒13:36)。指導者はやって来て去って行きます。

ヘブル人への手紙は、2代目のキリスト教信者に向けて書かれました。著者は誰が彼らに教えたのか、信仰に導いたのが誰なのかを忘れさせたくないという思いがありました。

私たちが神様を信じることに導いて下さった人、訓練してくれた人、クリスチャン生活を促してくれた人たちのことを忘れないようにしましょう。

彼らは私たちの信仰の終了の時ではなく、始まりに関わってくれました。彼らがいなかったら、今日の自分は存在しないのです。そういう人たちを愛と感謝を持って覚えていきましょう。

今度はあなたの番です。福音を伝える時が来て あなたの時代の人に仕え人生の舞台から消えていきます。あなたの子孫たちが彼らの信仰を導いたのはあなただと尊敬を持って悟ることを願います。私たちに信仰を伝えた人を忘れてしまうことは、非常に残念なことです。

讃美歌 366

祈り 牧者であって友である主よ。あなたの玉座に私たちが近づきたいと願うように あなた様が信仰の英雄たちの人生にされたことを忘れることがありませんように。前に向かって従っていくとき、あなたの働きを見せてください。
イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン。

ジョー・バーネット
テキサス州 ヒューストン

6月5日(土)

この上もない喜びと思いなさい

聖書朗読 ヤコブ1:1~12

私の兄弟たち。さまざまな試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい。
ヤコブ1:2

私たちの主の兄弟のヤコブは、「私の兄弟たち。さまざまな試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい」(ヤコブ1:2)と励まします。私たちが試練に出会う時、私たちがそれを喜びと思うかは私たちにかかっています。そんなこと難し過ぎる?しかし、イエス様は私たちの試練が喜びに変わるわけをご存知です。つまり、こういうことなんです!私たちには、どんな時でもイエス様がそばにいてくださるからです。私たちの希望と将来はいつも主の御手にあるのです。あらゆる状況下にあるうと喜びに満ちているということは、この世の人々の理解を越えているでしょう。しかし、クリスチャンである私たちは、この世の終わりの結末を知っていますから、全てを喜びとすることができるのです。

夫と私がまだ若く子供たちも小さかった頃、よくジェットコースターに乗りました。乗る前に、ワクワクしながらカーブや急な下り坂や突然のターンを予測しました。そうすることでジェットコースターに乗っている間に起こることへの心の準備をすることが自然とできました。人生はジェットコースターのように予測できないことの連続です。

人生において辛いことを経験しない人は一人もいません。イエス様はこうおっしゃいました。「勇敢でありなさい。わたしはずでに世に勝ったのです」(ヨハネ16:33)。イエス様はこの世の結末をご支配されるお方です。主にあつて確固たる自信を持つことは、私たちの生きる姿勢を左右します。主にある確固たる自信は、私たちが試練の真っ只中にいるとき、平安でいられることへと繋がります。

人生はサプライズの連続です。でも、イエス様がそばにいて下さいます。「この上もない喜びと思いなさい。」

讃美歌 285

祈り 天のお父様。人生には困難な時期があります。それは喜びを奪ってしまいます。あなたに信頼することができますように。あなたはいつも愛してくださって、見ていてくださり、守ってくださっていることを知っています。私たちの心を平安で満たしてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

キャロル・ローズ
コロラド州 プエブロ

6月6日(日)

完璧主義やめませんか?

聖書朗読 Iヨハネ1:1~10

もし、罪はないというなら、私たちは自分を欺いており、真理は私たちのうちにありません。
Iヨハネ1:8

サリーという若い女性は自分の結婚式を完璧にしようと思っていましたが、うまく行きませんでした。まず、お願いしていたソロの歌手は風邪をひいてしまいました。式の後の会食のケイタリングを頼んだ会社はサリーが選んでいない変わった色の青を飾り付けの色として使っていました。何よりもひどかったことは、ドレスです。式の前にサリーはウェディングの裾を踏んでしまい腰まで裂けてしまったのです。彼女の母親は繕うことができるし誰も気がつかないと言いましたが、サリーは誰の目も分かってしまうと思いました。

すばらしい結婚式だったと誰もが言いましたが、サリーは「完璧にやりたかったのに、私の結婚式はめちゃくちゃだったわ」と言いました。もしサリーが完璧をこのように理解しているなら、人生で思いがけないことが生じた場合、失望することは明らかです。人生にはたくさん良いことがありますし、うまくいくこともあるし、すばらしいこともあります。完璧に全てが上手く行くことはそんなに多くありません。

イエス様だけが今もこれらかも完全なるお方です。そして、イエス様は私たちを罪から贖うために、イエス様だけがお出来になる完全な生き方を示され、私たちを救いへと導いて下さいました。

讃美歌 II182

祈り お父様、イエス様の完全な人生と死と蘇りを感謝いたします。私たちは完璧ではありませんが、罪を言い表す時に赦されることを感謝します。光の中を歩ませて頂き、主と交わりを持って生きていくことができますように。

イエス様のお名前でお祈り致します。アーメン。

ハービー・フロイド
テネシー州 ナッシュビル